

土間と回廊のある家

—素足でのびのびと暮らす—

夫婦と3人の男の子が住むこの住宅は、地域性を考慮して「土間と回廊をテーマ」にした。

土間に屋根を架けることで雨の日でも遊べ、自転車も雨ざらしにすることなく置くことができ、2階のベランダは洗濯物も干せる。

タイヤを置くスペースも建物に組み込んだ（外物置）。2階のベランダも含めれば、1階と2階のそれぞれが回遊できる。

土間、ウッドデッキ、キャットウォーク、そして回廊のようなベランダ。この家には外と内の中間地点がある。

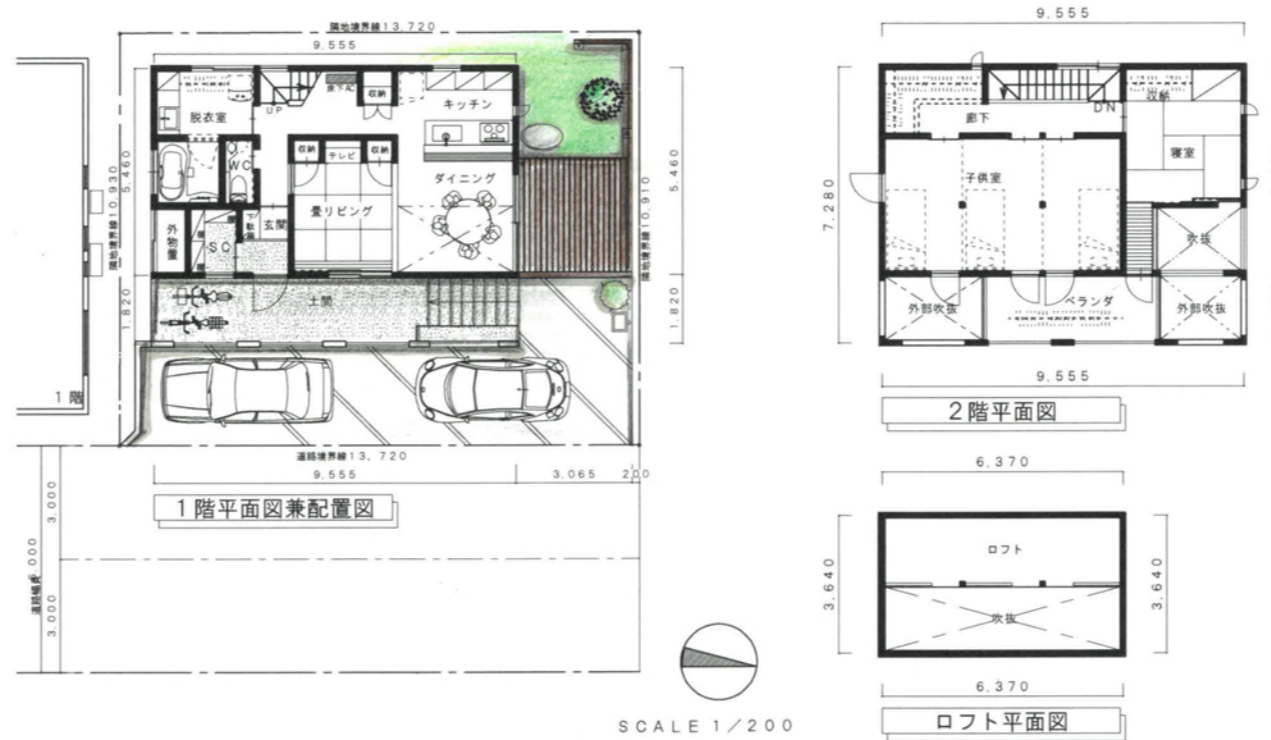
そこは、家族の憩いの場となり、子どもたちは裸足で走りまわったり、寝転んだり、のびのびと暮らしている。



北側外観：雪国には欠かせない「雪かき道具」を玄関先に立てかけられる
外観はアスファルトシングルブラックを使用
アクセントとして唐松を用いて、木材の経年変化を楽しめるようにした



軒下：雪国の風雪の吹き込みを和らげる
軒下空間：コンクリート土間



建築概要
所在地 新潟県新潟市
家族構成 夫婦+子供3人
構造 木造軸組工法
敷地面積 149.90㎡
床面積 100.09㎡
竣工年月日 2018年10月



ダイニング・吹抜：北側の開口から冬の日射を取り入れる



子供室：ひとつながりの空間

階段：杉材

木を使って地域や社会を活性化し、木の優しい手ざわり、木の香りが子供の感性を育む。



新潟市巻地区の杉



構造材：県産杉



外壁材：唐松(長野県産)



キッチン収納：シナ合板を使用



LDK：床は杉(秋田県産)



1階WC：カウンターにはナラ材を使用



キャットウォーク：杉材を使用